第4章

地域別まちづくりの方針

１．地域区分の設定と各地域の概況

地域別構想を策定するにあたり、地域のコミュニティ、地形地物、各種法規制指定状況等を総合的に勘案しました。

地域のコミュニティを生かしたまちづくりが醸成されるには、「旧町村による区分が妥当」であると考えられることから、「池田地域（都市計画区域を含む）」、「三野地域」、「井川地域」、「山城地域」、「西祖谷地域」、「東祖谷地域」の 6 地域に区分し、それぞれのまちづくりの方向性を示すこととしました。

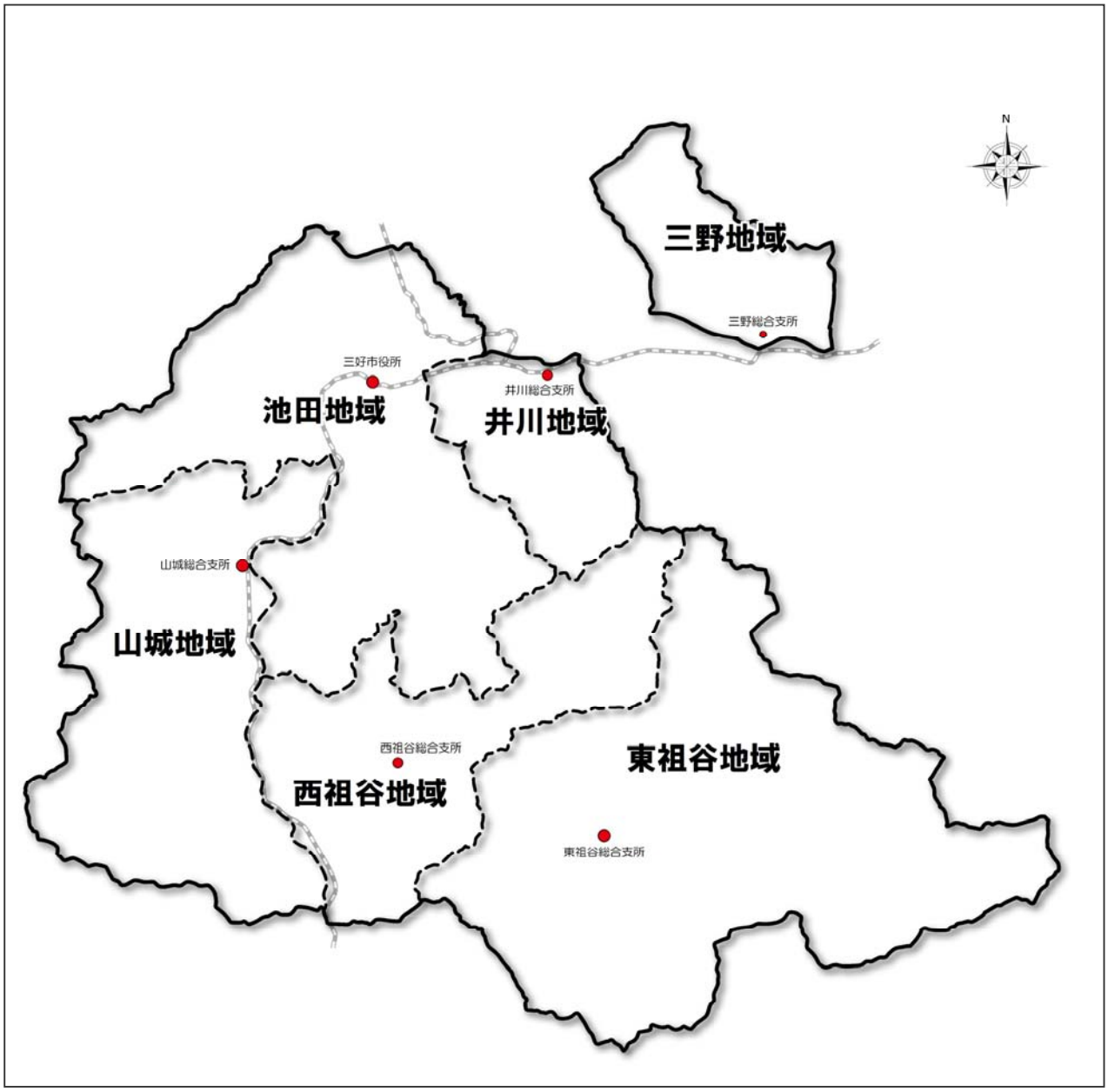


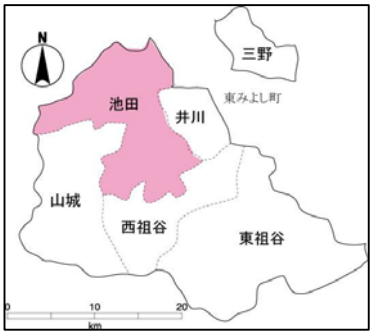
図　地域区分図

2. 地域別将来目標と整備方針

2-1.池田地域

（1）地域の特性と課題

1）地域の特性



市の北部に位置し、地域を横断するように吉野川が流れています。地域の北部の県境には雲辺寺山を含む箸蔵県立自然公園が広がっています。また、国道 32 号、192 号ならびに JR 土讃線・徳島線が接続する交通の要衝地となっており、JR阿波池田駅やバスターミナルが立地しています。この周辺には、市役所や商店街等により既成市街地が形成されるなど、市の行政・医療・商業・業務・教育等の中心となっており、古くは「たばこ産業」、「お茶」の産地、加工・集積地として発展してきました。また、吉野川北側に州津地区、吉野川上流に中西地区、白地地区と小規模な町が形成されています。これら地域を含み池田都市計画区域が指定されており、そのうち、既成市街地を中心に用途地域が指定されています。

うだつの町並み		JR 阿波池田駅
黒沢湿原		中心市街地の大規模ショッピングセンター
市街地（全景）		いけだ阿波おどり

表：地域の主な都市施設や地域資源

道路・公共交通		（一般国道）国道 32 号、国道 192 号 （主要地方道）県道観音寺池田線、県道込野観音寺線、県道観音寺佐野線、県道鳴門池田線、県道山城東祖谷山線 （鉄道）JR 徳島線（阿波池田駅）、JR 土讃線（坪尻駅、箸蔵駅、阿波池田駅、三縄駅）（高速バス）四国交通、阪急バス等（路線バス）三好市営バス、四国交通
公共施設等		三好市役所（本庁）、県立三好病院、県立池田高校、県立三好高校、県西部総合県民局、三好市池田総合体育館、丸山公園、阿波池田駅前バスターミナル
地域資源	景観資源	池田湖、池田ダム、祖谷渓、黒沢湿原、竜ヶ岳
	歴史資源	箸蔵寺（四国別格二十霊場第 15 番札所） 雲辺寺（四国八十八箇所 66 番札所）、川人家長屋門、池田城址、白地城址
	観光資源	池田うだつの家、たばこ資料館、いけだ阿波おどり

２）地域の課題

・南北の主要幹線道路で国道 32 号については、異常気象時通行規制区間があり、脆弱な広域幹線道路となっています。また、市街地中心部の東西幹線道路である国道 32 号及び主要地方道観音寺池田線は通過交通や地域発生交通が集中し、やや混雑状況にあります。
・都市計画道路の指定はなく、中心部における幹線道路網が十分に形成されていません。また、用途地域内には狭隘道路が多く存在しています。
・下水施設（合併処理浄化槽等）の普及率は 39.2%（平成 20 年度）と市平均の 37.1%をやや上回っているものの、全国的に見ると、依然低い普及率となっています。
・防災面では、吉野川の無堤地区が中心東部にあり、河川堤防の早期整備が望まれています。
・吉野川の清流とこれをとりまく山並み、南部の祖谷渓谷は美しい自然環境を有しています。しかしながら近年、耕作放棄地や山林の荒廃が進んでおり自然環境の保全が求められています。
・旧来からの市街地は、十分に接道しない老朽化した木造住宅が密集する箇所があり、十分な幅員が無く、住環境の悪化だけでなく、災害時の救助活動が困難になることが想定されます。

（２）将来像と地域別整備方針

本地域は中心市街地を擁し、本市の中で唯一都市計画区域が設定されていることや盆地で形成されている地形的特徴を有することから、旧来よりコンパクトなまちづくりが進められてきました。今後とも市の行政・医療・商業・業務・教育等の中心地として、都市機能の強化を図ります。特に中心市街地における低・未利用地・遊休地の活用を進めるとともに、広域的な拠点として強化を目指します。

《池田地域の将来像》

「住み・働きやすい舞台が整う　活力みなぎるまち　池田」

１）土地利用の方針

・JR阿波池田駅北側の商業地域に指定しているエリアを中心商業業務地と位置づけ、地元や関係機関と協議しながら新たな利用等を検討するなど、機能的で美しい中心市街地の整備を行うことにより商業・業務機能の集積を促進します。また、未利用地についても、本来の目的に沿った機能の集積を図ります。

・なお、JR阿波池田駅北側及びJR沿線の土地利用について、用途指定と現在の土地利用の実態を踏まえ、用途地域の指定の見直しを検討します。

・中心部における適切な土地利用の誘導を図るとともに、低未利用地や遊休地の有効活用を図ります。

・シンヤマ周辺の一部のエリアを専用住宅地と位置づけ、良好な住環境の維持、形成のため、地区計画や建築協定を検討します。

・中心市街地から国道 192 号に合流する沿道周辺については住商複合地と位置づけ、日用品を販売する商業施設が立地する住みよい住環境を維持、促進します。

・JR阿波池田南側のイケミナミ周辺のエリアは住みよい住環境を創出するため、建物の建替え時期等にあわせて道路拡幅を検討します。

・ウエノ周辺のエリアは幼稚園から高等学校まで集積した文教エリアとして、今後も良好な学習ゾーンとして維持していきます。

・市役所周辺は池田地域のまちづくりの活動拠点として活用するとともに、阿波池田駅周辺は、観光結節点としての都市機能強化や拠点性の向上を目指した交流機能強化を進めます。

・用途地域外のエリア（用途白地地域）については当該エリア内に立地する住宅地の住環境の向上に努めるとともに、周辺に広がる山麓を保全します。なお、必要に応じて用途地域等の指定による土地利用の規制・誘導を検討します。

・都市計画区域外において一定の人口集積が見られるエリアでは、良好な住環境を形成するため、今後必要があれば、都市計画区域への編入を検討します。

２）地域施設の整備方針

①　道路・交通

・公共交通の維持に努めるとともに、交通弱者を支援する制度の充実を図ります。

・国道 32 号をはじめ広域幹線道路の走行性向上と災害に強い道路ネットワークの形成を目指します。

・中心部において、有効な土地利用を誘導するために必要な都市計画道路の検討を行うとともに、観光・商業・防災を考えた歩行者ネットワークの形成を目指します。

・分散する集落については幹線道路と連絡する生活道路の整備を進めます。

・観光地へのアクセス道の整備を進めます。

② 公園・緑地等

・地域住民の健康増進を目的とし、身近な公園、社寺林と歩道をネットワークしたウォーキングコースを検討します。そのため、市街地に残された緑の保全、都市公園の整備に加え、歩行者の安全を確保できる対策を検討します。

・丸山公園は、災害時の市街地の防災活動拠点として対応可能な公園として整備します。

・吉野川運動公園や箸蔵近隣公園、池田総合体育館を身近なスポーツレクリエーション施設として適切に維持管理を図っていきます。

③ 景観形成

・吉野川、池田湖をはじめ、うだつの町並み風景など優れた景観を保全するとともに、これらを活用した賑わいのある周遊ルートを検討するなど商業と観光産業を支援していきます。

・三好市景観計画にもとづき、自然景観の保全を進めます。

④ 自然環境

・黒沢湿原、箸蔵県立自然公園など緑豊かな森林とそこに生息している貴重な生き物など自然環境の保全を図っていきます。

・鮎漁が見られる清流吉野川の自然環境の保全を進めます。

⑤ 地域防災

・洪水被害を防ぐため、吉野川堤防整備については関係機関と連携し、事業推進を図ります。

・減災に向けてハザードマップを活用した避難訓練や市民意識を向上するとともに、自主防災組織の育成を図ります。

・主要避難経路における狭隘道路の改良を進めます。

・老朽化した木造密集市街地の改良を図ります。

・土砂災害や水害の危険個所の周知徹底や情報伝達の充実等を図ります。

・耐震改修促進計画に基づき、公共施設等の耐震化を進めます。

⑥ その他の公共施設

・汚水処理施設について生活排水処理基本計画に基づき普及を進めます。

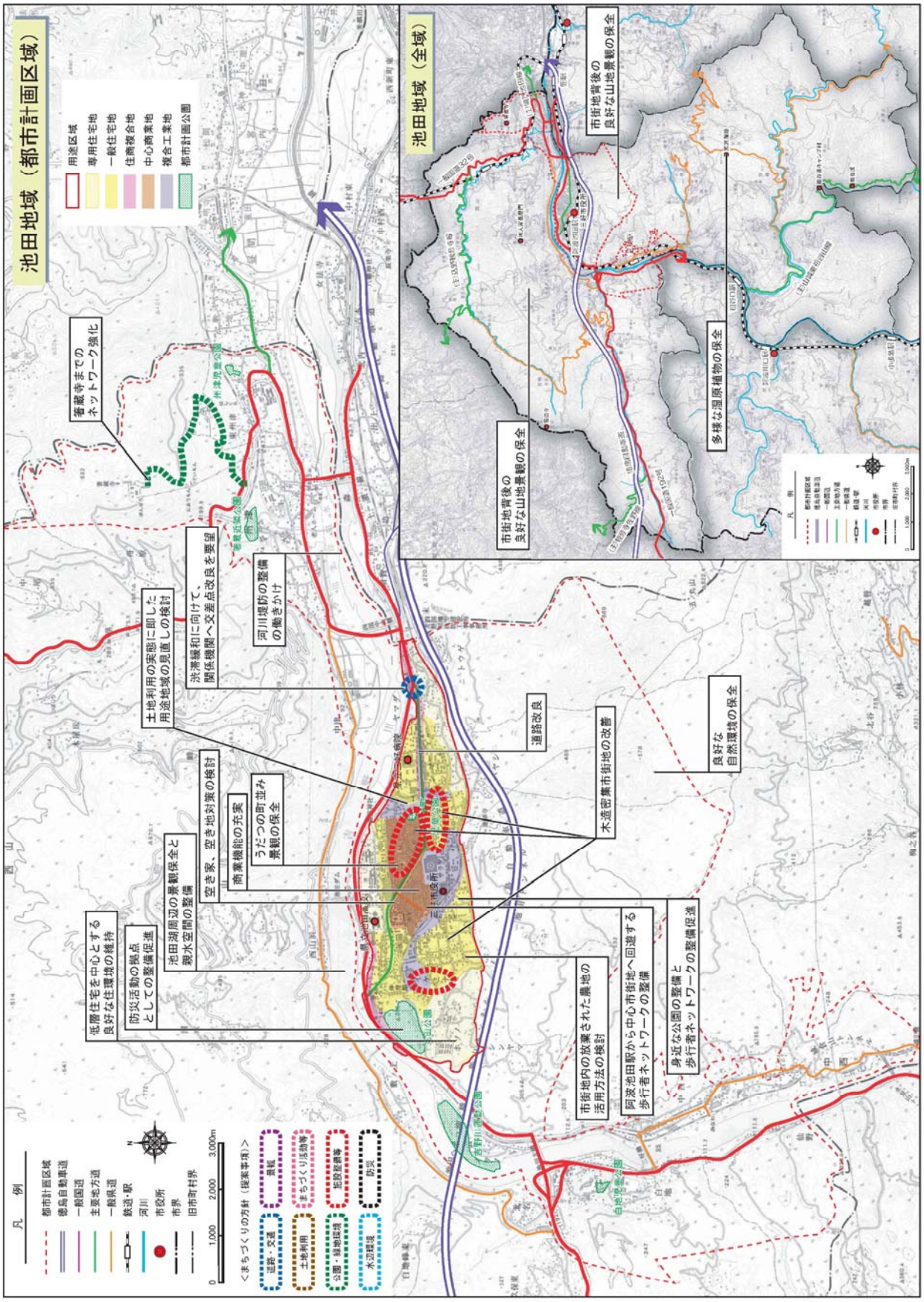
・河川整備の促進など災害に強いまちづくりを目指します。

・水道施設（上水道・簡易水道等）を適切に維持管理するとともに、未普及地域の解消を目指します。

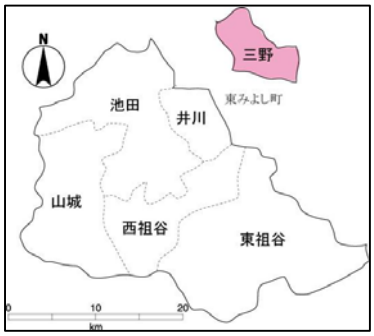
・地域活性化の核となり、今後のまちづくりのシンボルとなる交流拠点施設の整備を推進します。また、芸術文化団体等の活動に対する支援と組織強化、指導者の確保・育成、質の高い文化事業の展開などを進めていきます。

・児童数の減少に伴う休校（廃校）舎のさらなる利用促進方法を検討し、豊かな教育環境やコミュニティの醸成を支援します。

（3）地域別構想図


池田地域（都市計画区域）
用途区域
専用住宅地
一般住宅地
住商複合地
中心商業地
複合工業地
都市計画公園
池田地域（全域）
凡　例
都市計画区域
優良自然環境
一般国道
主要地方道
一般県道
鉄道・駅
河川
市役所
市界
旧市町村界
0　1,000　2,000　3,000m
<まちづくりの方針（提案事項）>
道路・交通
土地利用
公園・緑地整備等
水辺環境
景観
まちづくり活動等
歴史整備等
防災
低層住宅を中心とする良好な住環境の維持
防災活動の拠点としての整備促進
池田湖周辺の景観保全と親水空間の整備
空き家、空き地対策の検討
商業機能の充実
うだつの町並み景観の保全
土地利用の実態に即した用途地域の見直しの検討
渋滞緩和に向けて、関係機関へ交差点改良を要望
河川堤防の整備の働きかけ
雀蔵寺までのネットワーク強化
道路改良
木造密集市街地の改善
良好な自然環境の保全
市街地内の放棄された農地の活用方法の検討
阿波池田駅から中心市街地へ回遊する歩行者ネットワークの整備
身近な公園の整備と歩行者ネットワークの整備促進
市街地背後の良好な山地景観の保全
多様な湿原植物の保全
市役所
公園

2-2.三野地域



（1）地域の特性と課題

1）地域の特性

市の北東部に東みよし町を挟んで飛び地の行政区域となっています。この地域は三好市の中では比較的平坦な土地が連担しており、耕作地が多く、また市内で最も可住地の比率が高くなっています。耕作地には、特産品である柑橘類の栽培が多くみられます。

農村集落の景観		道の駅「三野」
健康とふれあいの森		地域南部を流れる清流吉野川
カンドリ船		特産品の柑橘類

表：地域の主な公共施設や地域資源

道路・公共交通		（主要地方道）県道鳴門池田線 （路線バス）三野交通、三好市営バス
公共施設等		三野総合支所、健康とふれあいの森、市立三野病院
地域資源	景観資源	八枚なべら
	歴史資源	瀧寺、大塚古墳
	観光資源	紅葉温泉、道の駅「三野」、カンドリ舟（鮎漁）の造船所、中央構造線、大平の湧水、金剛の滝・龍頭の滝

2）地域の課題

・東西の幹線道路である主要地方道鳴門池田線と連絡する県道芝生中庄線、出口太刀野線はほぼ整備が完了しているものの、中心部ならびに幹線道路から集落へ連絡する生活道路は、狭隘区間が多く存在しています。
・下水施設（合併処理浄化槽等）の普及率は 34.3%（平成 20 年度）と市平均の 37.1%を下回っています。
・吉野川の水面へ沈む夕日が美しく、また吉野川の沿川に広がる農山村の美しい景観を有しています。しかしながら、近年の耕作放棄地の増加により、本来の美しい農山村景観が阻害されつつあります。
・市営住宅は若者の定住の受け皿となりますが、老朽化が進んでおり、適切な維持管理をしていく必要があります。

（2）将来像と地域別整備方針

本市の農業中心地としてコメや柑橘類などをブランド化し、付加価値の高い農業生産を目指します。また市内でも特に良好な居住地として、若者の定住化対策を含めた住環境整備を進めます。

《三野地域の将来像》

「自然の恵みを生かした　産業と人材を育むまち　三野」

１）土地利用の方針

・中心部における良好な住環境や日用品等の店舗を充実させるため、低未利用地や遊休地の有効活用を図ります。

２）地域施設の整備方針

① 道路・交通

・主な公共施設へのアクセス道路や集落と幹線道路を連絡する生活道路の整備を進めます。
・公共交通の維持に努めるとともに、交通弱者を支援する制度の充実を図ります。
・観光地へのアクセス道の整備を進めます。

② 公園・緑地等

・主な公共施設周辺の植栽等、緑化を進めるとともに、地域の特性を生かした既存公園の整備・改修等を推進します。

③ 景観形成

・三好市景観計画にもとづき、自然景観の保全を推進します。
・優れた農山村風景を保全しながら、地域の特性を活かした収益性の高い作目、作型を導入し、地域として産地化を目指した農業の推進を支援します。
・滝や紅葉などの景勝地として景観の保全を進めます。

④ 自然環境

・鮎漁が見られる清流吉野川の自然環境の保全を進めます。

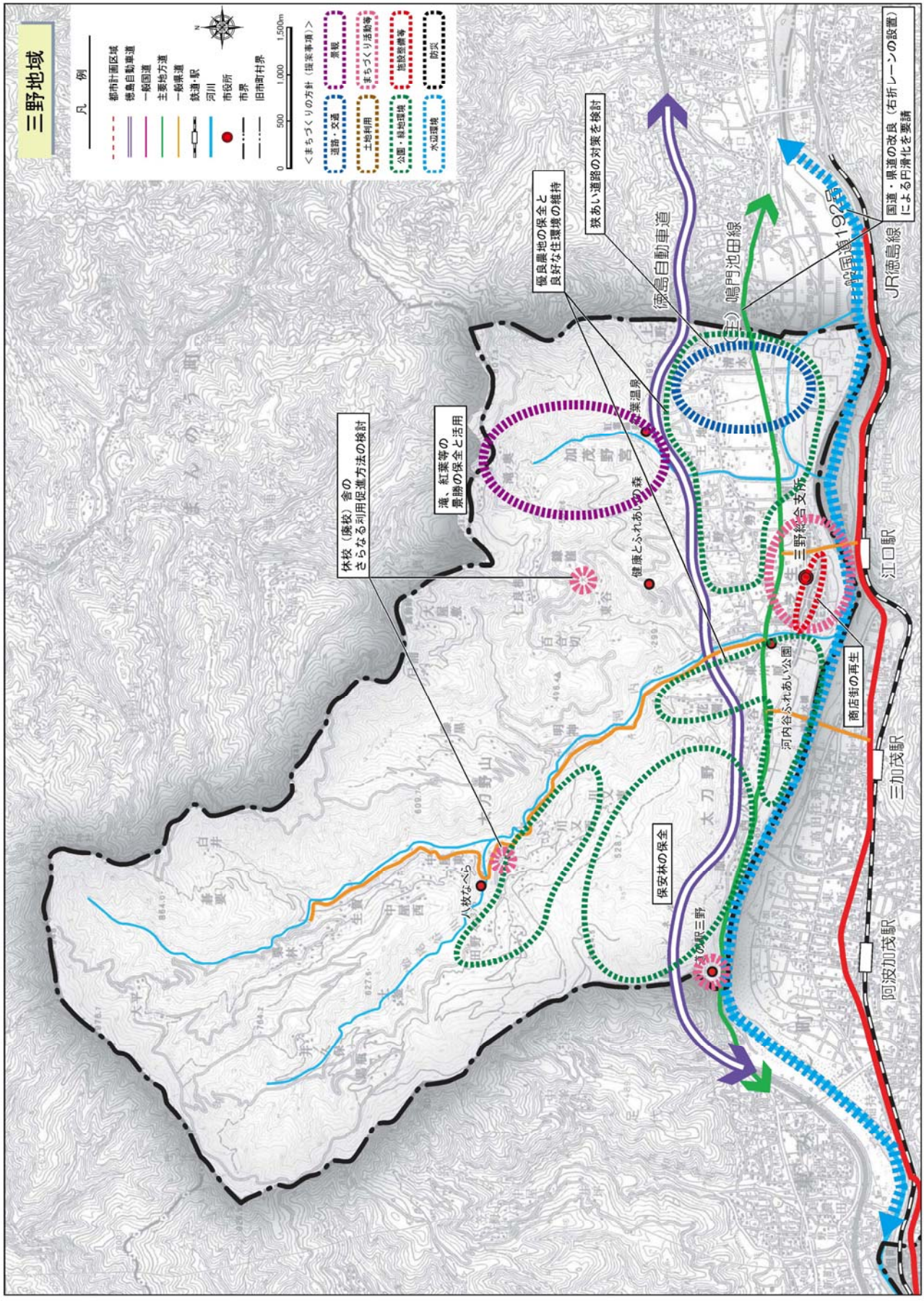
⑤ 地域防災

・地域の中部から北部に見られる急傾斜地等の土石流対策を進めます。
・減災に向けてハザードマップを活用した避難訓練や住民意識の向上を図ります。
・主要避難経路における狭隘道路の改良を進めます。
・耐震改修促進計画に基づき、公共施設等の耐震化を進めます。

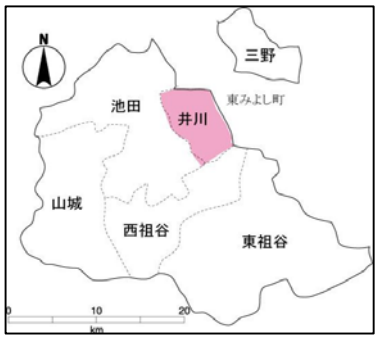
⑥ その他の公共施設

・河川堤外地を利用した施設の検討を進めます。
・水道施設（上水道・簡易水道等）を適切に維持管理するとともに、未普及地域の解消を目指します。
・汚水処理施設について、生活排水処理基本計画に基づき普及を進めます。
・児童数の減少に伴う休校（廃校）舎のさらなる利用促進方法を検討し、豊かな教育環境やコミュニティの醸成を支援します。

（3）地域別構想図


三野地域
凡　例
都市計画区域
徳島自動車道
一般国道
主要地方道
一般県道
鉄道・駅
河川
市役所
市界
旧市町村界
0
500
1,000
1,500m
<まちづくりの方針（提案事項）>
道路・交通
土地利用
公園・自然環境
水辺環境
景観
まちづくり活動等
地区整備等
防災
休校（廃校）舎の
さらなる利用促進方法の検討
滝、紅葉等の
景勝の保全と活用
優良農地の保全と
良好な住環境の維持
狭あい道路の対策を検討
保安林の保全
商店街の再生
国道・県道の改良（右折レーンの設置）
による円滑化を要請
徳島自動車道
(主)鳴門池田線
一般国道192号
JR徳島線
江口駅
三加茂駅
阿波加茂駅
三野総合支所
健康とふれあいの森
河内谷ふれあい公園
八枚なべら
大刀野山
加茂野宮温泉

2-3.井川地域



（1）地域の特性と課題

1）地域の特性

市の東部に位置し、西は池田地域、東は東みよし町へ隣接しています。古くは「たばこ産業」の加工・集約地として池田地域とともに発展してきました。中心部の辻町は「四つ辻」に形成されたうだつの残る街道集落であり宿場の機能の他、木材を積み出す河港の町として発展していました。吉野川沿川部は、比較的平坦な土地が連担していることから、可住地面積比率が22.2%と、三野地域についで可住地の比率が高くなっています。

辻町のうだつの町並み		下影の棚田
金竜山の桜		井川スキー場「腕山」
イカワ X パーク（ゾーブ）		御来迎の滝

表：地域の主な公共施設や地域資源

道路・公共交通		（高速道路）徳島自動車道井川池田 IC （一般国道）国道 32 号、国道 192 号 （一般県道）県道大利辻線、県道腕山宮石線、県道腕山花ノ内線、県道昼間辻線 （鉄道）JR 徳島線（辻駅、佃駅） （高速バス）四国交通、阪急バス等 （路線バス）四国交通、三好市営バス
公共施設等		井川総合支所、県立辻高校
地域資源	景観資源	下影の棚田（日本の棚田百選）、下久保のエドヒガンザクラ
	歴史資源	南前山・地福寺（新四国曼陀羅霊場）、八石城跡
	観光資源	井川スキー場腕山、金竜山（桜の名所）、御来迎の滝（ごらいこうのたき） イカワ X パーク

２）地域の課題

・東西の幹線道路であり、池田地域への連絡道路である国道 192 号はほぼ整備が完了しているものの、中心部から井内集落を連絡する県道大利辻線ならびに幹線道路から集落へ連絡する生活道路は、狭隘区間が多く存在しています。

・下水施設（合併処理浄化槽等）の普及率は 43.8%（平成 20 年度）と市平均の 37.1%を上回っていますが、さらなる整備推進が望まれます。

・防災面では、吉野川の氾濫区域が広く分布しており、河川堤防の早期整備が望まれています。さらに、急傾斜地崩壊危険箇所や地すべり危険箇所が存在し、土砂災害の危険性があるエリアが多数見られます。

・吉野川の景観が美しく、また井内には棚田の農山村の美しい景観を有しています。しかしながら、近年の耕作放棄地の増加により、本来の美しい農山村景観が阻害されつつあります。

（２）将来像と地域別整備方針

ICアクセスの交通立地を活かした市の産業集積等を進めるとともに、可住地に良好な住環境整備を進めます。

《井川地域の将来像》

「人と自然が楽しさ奏でる　交流のまち　井川」

１）土地利用の方針

・IC周辺ならびに国道 192 号沿線の未利用地では、産業立地等を進めるとともに、河川堤防の整備により、周辺土地の価値の向上を目指し、中心部では災害に強い良好な住環境整備を進めます。

２）地域施設の整備方針

① 道路・交通

・中心部や観光地へのアクセス道、集落と幹線道路を連絡する生活道路の整備を進めます。
・主要な避難路となる地域中心部の道路の改良を進めるとともに、地域中部の山間部の狭隘道路についても改良を進めます。
・公共交通の維持に努めるとともに、交通弱者を支援する制度の充実を図ります。

② 公園・緑地等

・主な公共施設周辺の植栽等、緑化を進めるとともに、身近な公園整備を推進します。

③ 景観形成

・三好市景観計画にもとづき、自然景観の保全を推進します。
・優れた農山村風景を保全するため、農業体験などの観光と連携した付加価値の高い農業を支援します。
・地域中部の耕作放棄地の対策を検討します。

④ 自然環境

・鮎漁が見られる清流吉野川の自然環境の保全を進めます。
・地域中部から南部に広がる民有林は、森林整備計画に即した適切な維持管理を行います。
・地域南部の自然公園地域に広がる自然環境を保全します。

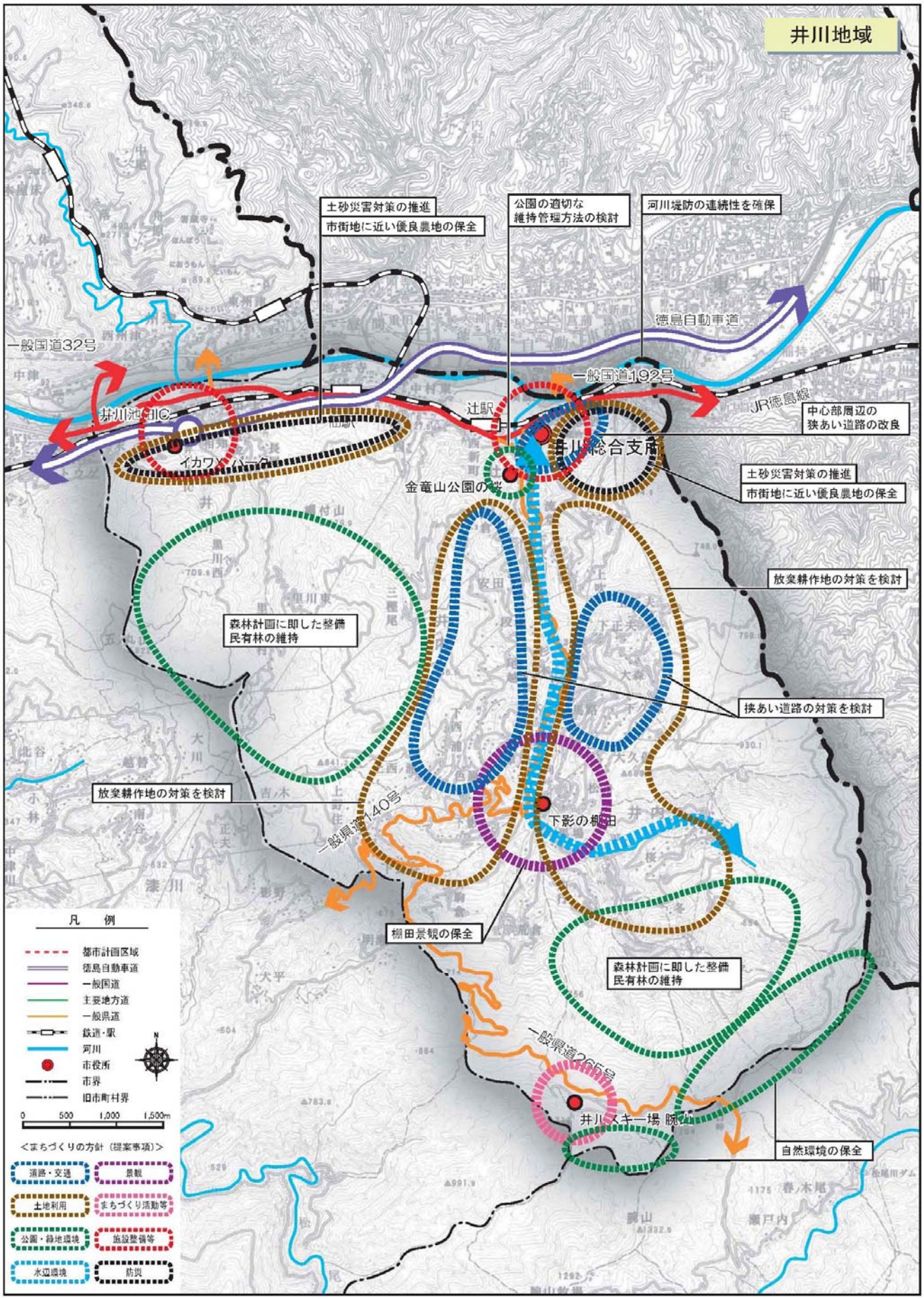
⑤ 地域防災

・洪水被害を防ぐために吉野川堤防の早期完成を関係機関へ働きかけます。
・主要避難経路における狭隘道路の改良を進めます。
・減災に向けてハザードマップを活用した避難訓練や市民意識の向上を図ります。
・耐震改修促進計画にもとづき、公共施設等の耐震化を進めます。

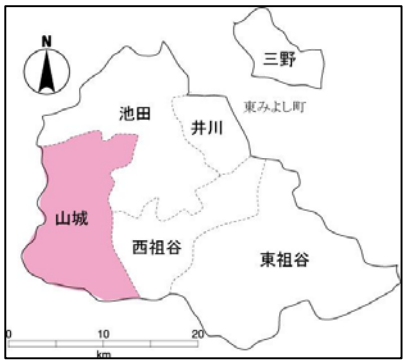
⑥ その他の公共施設

・河川計画の推進（堤防）により、利用価値の高い用地を拡大するとともに、災害に強いまちづくりを目指します。
・水道施設（上水道・簡易水道等）を適切に維持管理するとともに、未普及地域の解消を目指します。
・汚水処理施設について、生活排水処理基本計画に基づき普及を進めます。
・スキー場を中心とした観光交流施設をはじめ、地域内の観光施設の連携により観光振興を図ります。

(3)地域別構想図


井川地域
土砂災害対策の推進
市街地に近い優良農地の保全
公園の適切な
維持管理方法の検討
河川堤防の連続性を確保
徳島自動車道
一般国道32号
一般国道192号
JR徳島線
井川池田IC
辻駅
中心部周辺の
狭あい道路の改良
イカワパーク
井川総合支所
金竜山公園の桜
土砂災害対策の推進
市街地に近い優良農地の保全
放棄耕作地の対策を検討
森林計画に即した整備
民有林の維持
挟あい道路の対策を検討
放棄耕作地の対策を検討
一般県道140号
下影の棚田
棚田景観の保全
森林計画に即した整備
民有林の維持
一般県道256号
井川スキー場
自然環境の保全
凡　例
都市計画区域
徳島自動車道
一般国道
主要地方道
一般県道
鉄道・駅
河川
市役所
市界
旧市町村界
0　500　1,000　1,500m
<まちづくりの方針（提案事項）>
道路・交通
景観
土地利用
まちづくり活動等
公園・緑地環境
施設整備等
水辺環境
防災

2-4.山城地域



（1）地域の特性と課題

1）地域の特性

市の西部に位置し、西は愛媛県、南は高知県と接しており、地域を吉野川が縦断し、景勝地の大歩危（おおぼけ）小歩危（こぼけ）はラフティングや大歩危峡遊覧船で知られています。国道 32 号と土讃線が地域東端を南北に、愛媛県と連絡する国道 319 号が地域を東西に貫き、国道 32 号に合流しています。

主な産業は農業と林業で、お茶の栽培では規模は小さいものの、茶畑が山間傾斜地に点在する徳島県の一大産地となっています。吉野川と銅山川（伊予川）、そして四国山地によって形成された地域となっています。

大歩危・小歩危渓谷と観光遊覧船

ラフティング

塩塚高原

道の駅大歩危・ラピス大歩危

児啼爺石像

農業体験施設（キリサコ）

表：地域の主な公共施設や地域資源

道路・公共交通		（一般国道）国道 32 号、国道 319 号 （主要地方道）県道山城東祖谷山線、県道西祖谷山山城線 （鉄道）JR 土讃線（祖谷口駅、阿波川口駅、小歩危駅） （路線バス）四国交通、三好市営バス
公共施設等		山城総合支所、道の駅「大歩危」など
地域資源	景観資源	大歩危・小歩危渓谷、塩塚高原、とびの巣渓谷など
	歴史資源	四所神社、賢見神社、瑠璃山・長福寺、光明山・持性院、圓明寺、田尾城址など
	観光資源	大歩危・小歩危（ラフティングと遊覧船） ラピス大歩危（石の博物館・妖怪屋敷）、児啼爺伝説の発祥地 温泉宿泊施設（大歩危温泉サンリバー大歩危、賢見温泉、奥小歩危温泉、大歩危峡まんなか）、大川持農林業体験施設「キリサコ村」

2）地域の課題

・池田地域への連絡道路である国道 32 号は落石や土砂崩れが多く、本地域の全区間が異常気象時通行規制区間となっています。現在進められている 32 号改築防災（大歩危工区）による災害に強い幹線道路の整備促進が望まれています。また愛媛県と連絡する国道 319 号や県道粟山殿野線、県道上名西宇線は、集落から幹線道路を連絡する主要な生活道路となっていますが、1 車線や狭隘区間が多く存在しています。

・下水施設（合併処理浄化槽等）の普及率は 32.8%（平成 20 年度）と市平均の 37.1%を下回っています。

・防災面では、地滑り危険個所、急傾斜地が広く分布しており、安全な集落の形成や幹線道路の早急な整備が望まれています。

・徳島県と愛媛県にまたがる塩塚高原の眺望は美しい景観を有しています。しかしながら、山間部の急峻な地形と急傾斜地の立地条件の悪さに加え、過疎化による後継者不足や高齢化等も重なり耕作放棄地も拡大傾向にあるなど、本来の美しい農山村景観が阻害されつつあります。

（2）将来像と地域別整備方針

農業（お茶、山菜）・林業は付加価値の高い農業・林業を目指します。また、大歩危・小歩危渓谷の自然景観やラフティング、妖怪伝説等の良好な観光資源を活かした観光拠点整備を進めます。

《山城地域の将来像》

「自然の魅力にときめく　体験のまち　山城」

１）土地利用の方針

・高齢化過疎化が進み集落機能が低下するなか、新たな定住と交流を育むため防災対策を進めるなど安心安全な生活空間の維持ができるよう、集落の環境整備を推進します。また、空き家対策や耕作放棄地の有効活用を図ります。

２）地域施設の整備方針

① 道路・交通

・主要幹線道路である国道 32 号の改築防災事業を促進します。
・集落と幹線道路を連絡する生活道路や観光地へのアクセス道の整備を進めるとともに、隣接都市に連絡する国道 319 号をはじめとした幹線道路の拡幅を促進します。
・公共交通の維持に努めるとともに、交通弱者を支援する制度の充実を図ります。
・災害時にボトルネックとなることから、大歩危トンネルの早期完成を関係機関に要望します。

② 公園・緑地等

・主な公共施設周辺の植栽等緑化を進めます。

③ 景観形成

・三好市景観計画にもとづき、自然景観の保全を推進します。
・大歩危、小歩危渓谷やとびの巣渓谷の渓谷景観を保全します。
・間伐など森林整備を的確に実施し、林業の維持と健全な森林景観の保全を推進します。また、茶産業の活性化のため、優良な茶畑の保全を支援します。

④ 自然環境

・吉野川渓谷の自然環境の保全を進めます。

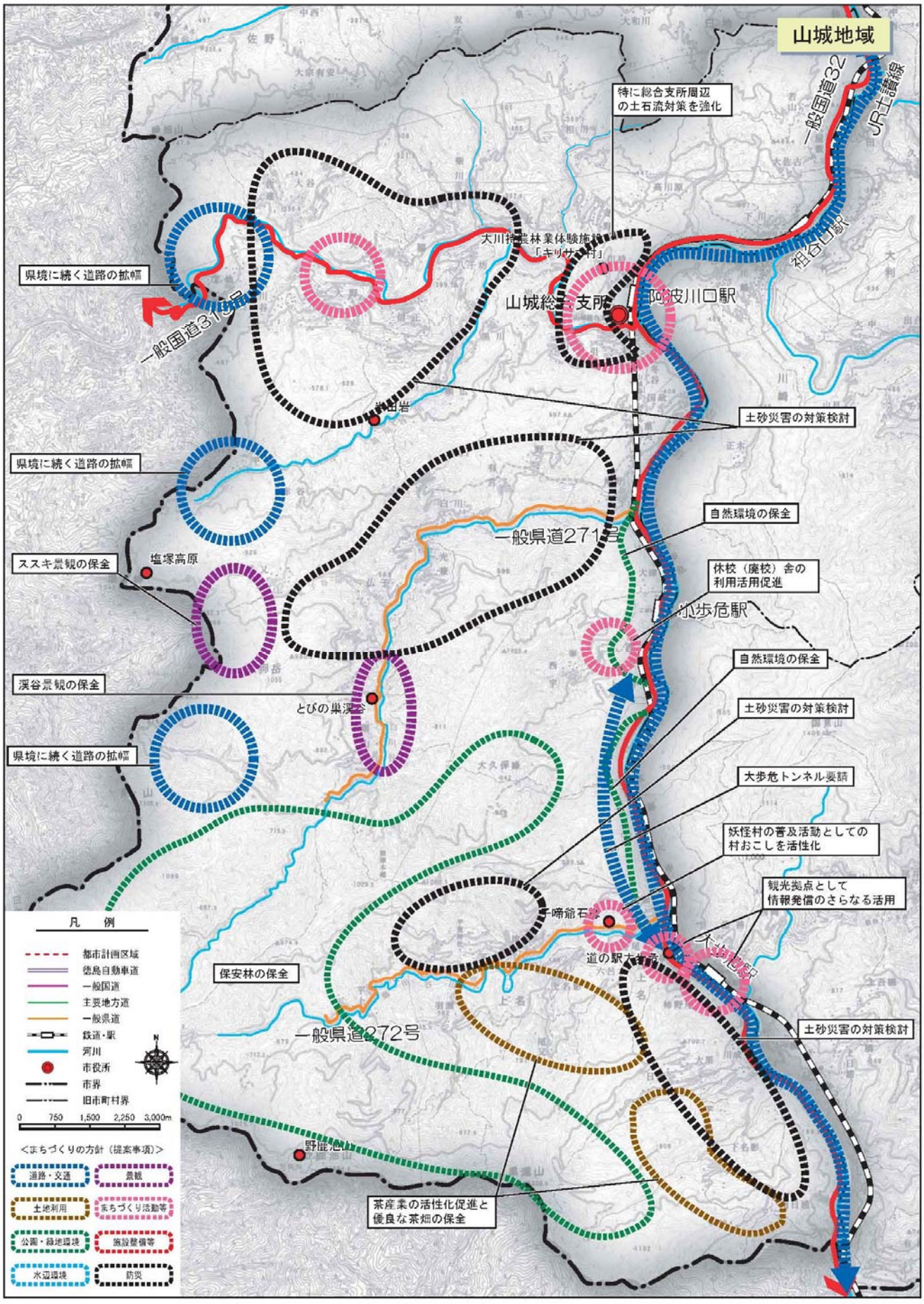
⑤ 地域防災

・国道 32 号の異常気象時通行規制区間の早期解消を関係機関へ働きかけます。また、主要避難経路となる道路の改良を進めます。
・減災に向けてハザードマップを活用した避難訓練や市民意識の向上を図ります。
・集落における地滑りや急傾斜地区については、砂防堰堤や落石予防のフェンスなど防止対策の整備を進めます。
・耐震改修促進計画にもとづき、公共施設等の耐震化を進めます。

⑥ その他の公共施設

・水道施設（上水道・簡易水道等）を適切に維持管理するとともに、未普及地域の解消を目指します。
・汚水処理施設について、生活排水処理基本計画にもとづき普及を進めます。
・児童数の減少に伴う休校（廃校）舎のさらなる利用促進方法を検討し、豊かな教育環境やコミュニティの醸成を支援します。

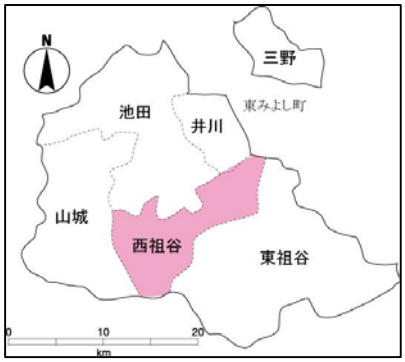
(3)地域別構想図


山城地域
特に総合支所周辺
の土石流対策を強化
一般国道32
JR土讃線
大川村森林業体験施設
「キリサメ村」
祖谷口駅
県境に続く道路の拡幅
一般国道439号
山城総合支所
阿波川口駅
岩田岩
土砂災害の対策検討
県境に続く道路の拡幅
自然環境の保全
一般県道271号
ススキ景観の保全
塩塚高原
休校（廃校）舎の
利用活用促進
小歩危駅
自然環境の保全
渓谷景観の保全
とびの巣渓谷
土砂災害の対策検討
県境に続く道路の拡幅
大歩危トンネル要請
妖怪村の普及活動としての
村おこしを活性化
観光拠点として
情報発信のさらなる活用
子持筒石
道の駅大歩危
大歩危駅
保安林の保全
一般県道272号
土砂災害の対策検討
野鹿池
茶産業の活性化促進と
優良な茶畑の保全
凡　例
都市計画区域
徳島自動車道
一般国道
主要地方道
一般県道
鉄道・駅
河川
市役所
市界
旧市町村界
N
0　750　1,500　2,250　3,000m
<まちづくりの方針（提案事項）>
道路・交通
景観
土地利用
まちづくり活動等
公園・緑地環境
施設整備等
水辺環境
防災

2-5.西祖谷地域

（1）地域の特性と課題

1）地域の特性



市の南部に位置し、南は高知県と接し、地域中央を祖谷川が流れています。主な産業は観光産業で、アメゴや祖谷そばが名物となっています。祖谷のかずら橋、祖谷渓谷、道の駅「にしいや」、平家屋敷、秘境の湯などがあります。これらを巡るボンネットバスの定期観光があり、秘境の観光地となっています。

祖谷のかずら橋		祖谷渓谷
秘境の湯		平家屋敷民俗資料館
道の駅「にしいや」		ボンネットバス

表：地域の主な公共施設や地域資源

道路・公共交通		（主要地方道）県道山城東祖谷山線、県道西祖谷山山城線 （鉄道）JR 土讃線（大歩危駅） （バス路線）三好市営バス、四国交通
公共施設等		西祖谷総合支所、道の駅「にしいや」、三好市西祖谷運動公園など
地域資源	景観資源	大歩危、祖谷渓、竜ヶ岳、琵琶の滝、大宮の大杉など
	歴史資源	平家屋敷民族資料館、徳善屋敷、安楽寺、恵伊羅御子の墓など
	観光資源	秘境の湯、祖谷のかずら橋など

２）地域の課題

・国道 32 号、（主）西祖谷山山城線、（主）山城東祖谷山線は全区間が異常気象時通行規制区間で異常気象時には地域外への路線がなく孤立地区になる恐れがあるなど、災害に強い幹線道路の整備が課題となっています。また谷あいの集落と幹線道路を連絡する生活道路は 1 車線や狭隘区間が多く存在しています。

・下水施設（合併処理浄化槽等）の普及率は27.3%（平成 20 年度）で6 地域中最も低く、市平均の 37.1%を大幅に下回っています。

・防災面では、地滑り危険個所、急傾斜地が広く分布しており、地滑り対策工事等早急な対応が望まれています。

・山間部の急峻な地形と急傾斜地の立地条件の悪さに加え、過疎化による後継者不足、高齢化等も重なり耕作放棄地も拡大傾向にあるなど、本来の美しい農山村景観が阻害されつつあります。

（２）将来像と地域別整備方針

・東祖谷地域と連続する本地域は、国指定の祖谷のかずら橋や平家落人の伝説等歴史的資源、祖谷渓谷等の自然資源を活かした観光地として秘境観光による振興を目指します。

《西祖谷地域の将来像》

「豊かな自然と人がもてなす　心やすらぐまち　西祖谷」

１）土地利用の方針

・高齢化過疎化が進み集落機能が低下するなか、新たな定住と交流を育むため、防災対策を進めるなど安心安全な生活空間の維持ができるよう集落の環境整備を推進します。また、空き家対策や耕作放棄地の有効活用を図ります。

2）地域施設の整備方針

① 道路・交通

・主要幹線道路である（主）西祖谷山山城線、（主）山城東祖谷山線の防災拡幅事業を促進します。

・避難路となる生活道路や観光地へのアクセス道の整備を進めます。

・公共交通の維持に努めるとともに、交通弱者を支援する制度の充実を図ります。

② 公園・緑地等

・主な公共施設や観光施設周辺の植栽等緑化を推進します。

③ 景観形成

・三好市景観計画にもとづき、自然景観の保全を推進します。

・優れた農山村風景を保全するため体験観光農業など付加価値の高い観光農業等を支援します。

・間伐など森林整備を的確に実施し、林業の維持と健全な森林景観の保全を推進します。

④ 自然環境

・祖谷川渓谷の自然環境の保全を進めます。

・地域北部の自然公園特別地域に広がる貴重な自然環境を保全します。

⑤ 地域防災

・異常気象時通行規制区間の早期解消を関係機関へ要望します。

・減災に向けてハザードマップを活用した避難訓練や市民意識の向上を図ります。

・集落における地滑りや急傾斜地区については、砂防堰堤や落石予防のフェンスなど防止対策の整備を進めます。

・耐震改修促進計画にもとづき、公共施設等の耐震化を進めます。

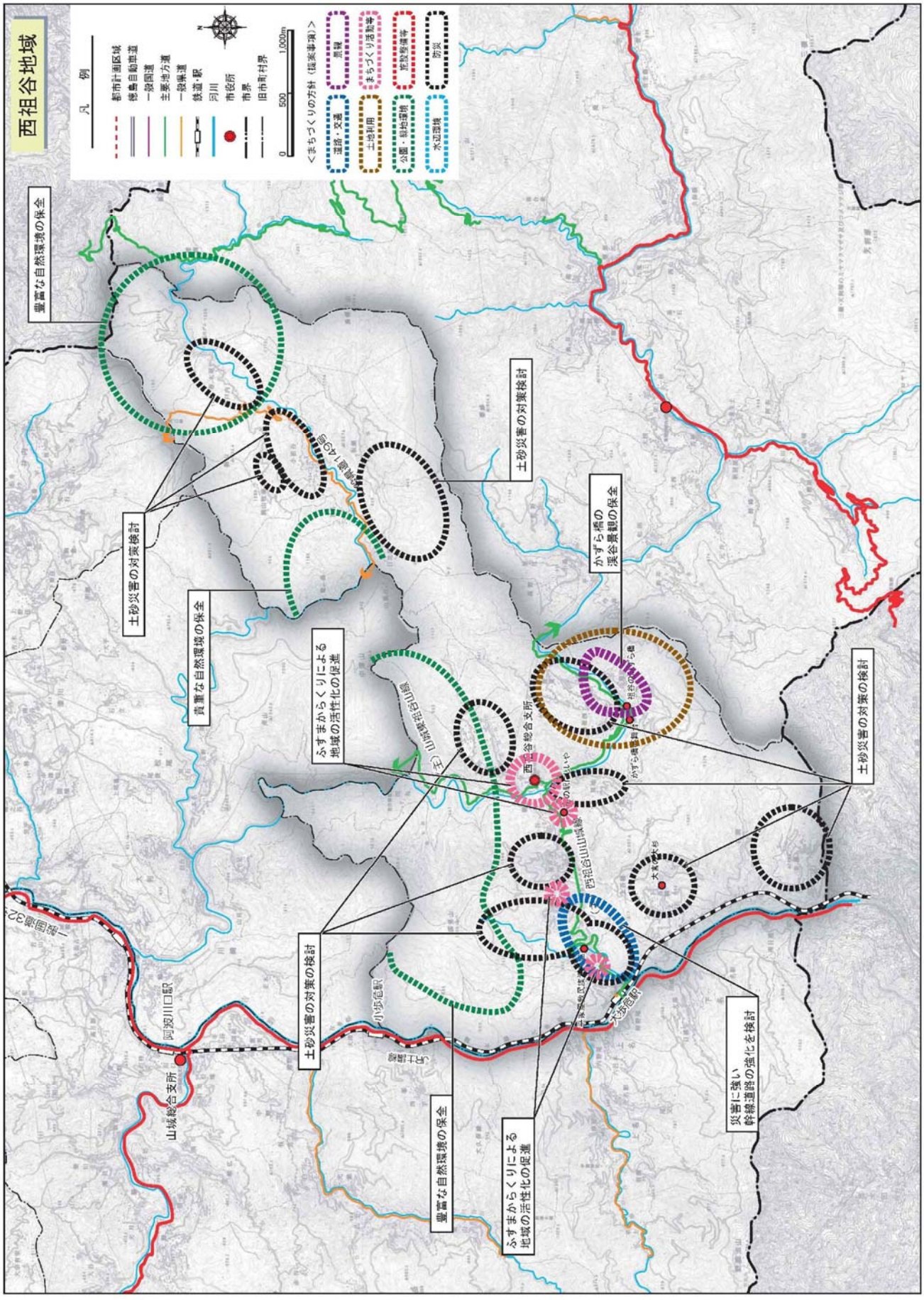
⑥ その他の公共施設

・水道施設（上水道・簡易水道等）を適切に維持管理するとともに、未普及地域の解消を目指します。

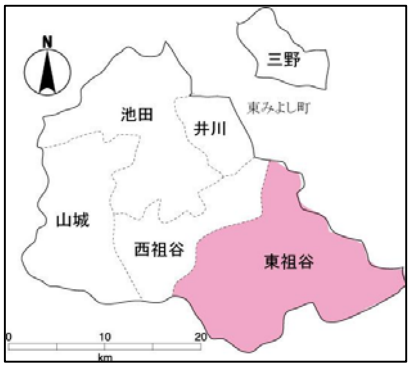
・汚水処理施設については、生活排水処理基本計画にもとづき普及を進めます。

・児童数の減少に伴う休校（廃校）舎のさらなる利用促進方法を検討し、豊かな教育環境やコミュニティの醸成を支援します。

（3）地域別構想図


西祖谷地域
凡　例
都市計画区域
徳島自動車道
一般国道
主要地方道
一般県道
鉄道・駅
河川
市役所
市界
旧市町村界
0
500
1,000m
<まちづくりの方針（提案事項）>
農業
まちづくり活動等
景観形成等
防災
道路・交通
土地利用
公園・緑地等
水辺環境
豊富な自然環境の保全
土砂災害の対策検討
貴重な自然環境の保全
ふすまからくりによる
地域の活性化の促進
かずら橋の
渓谷景観の保全
災害に強い
幹線道路の強化を検討
阿波川口駅
山城総合支所
小歩危駅
大歩危駅
西祖谷総合支所
西祖谷山城跡
一般国道32号
JR土讃線
主）山城東祖谷山線
一般県道1405号線

2-6.東祖谷地域



（1）地域の特性と課題

1）地域の特性

市の南東部に位置し、南は高知県と接しています。地域の中央には祖谷川が流れています。主な産業は観光産業と建設業で、アメゴや祖谷そば、ごうしゅういも等の特産地となっています。剣山、三嶺、いやしの温泉郷、奥祖谷二重かずら橋、平家の落人伝説、瀧宮崖公園など多くの観光地があります。可住地面積比率は、他地域と比べ最も低くなっています。

剣山		いやしの温泉郷
落合重要伝統的建造物群保存地区		奥祖谷二重かずら橋
祖谷地方で最も大きい武家屋敷（喜多家）		奥祖谷観光周遊モノレール

表：地域の主な公共施設や地域資源

道路・公共交通		（一般国道）国道 438 号、国道 439 号 （主要地方道）県道山城東祖谷山線、県道三加茂東祖谷山線 （路線バス）三好市営バス、四国交通
公共施設等		東祖谷総合支所
地域資源	景観資源	剣山（日本百名山）、祖谷川、三嶺（日本二百名山）、次郎笈、落合重要伝統的建造物群保存地区
	歴史資源	武家屋敷喜多家、阿佐家、東祖谷民族資料館、栗枝渡八幡神社など
	観光資源	瀧宮崖公園、いやしの温泉郷、奥祖谷二重かずら橋など

２）地域の課題

・池田地域への連絡道路である国道 439 号、（主）山城東祖谷山線は全区間が異常気象時通行規制区間となっています。また剣山周辺では冬季通行止め区間もあり防災に強い幹線道路の整備が課題となっています。また谷あいの集落と幹線道路を連絡する生活道路は 1 車線や狭隘区間が多く存在しています。

・下水施設（合併処理浄化槽等）の普及率は 30.3%（平成 20 年度）と市平均の 37.1%を大幅に下回っています。

・防災面では、地滑り危険箇所、急傾斜地が広く分布しており、地滑り対策工事等早急な対応が望まれています。

・祖谷川の渓谷が美しく、重要伝統的建造物群保存地区である落合地区など美しい景観を有しています。一方、山間部の急峻な地形と急傾斜地の立地条件の悪さに加え、過疎化による後継者不足、高齢化等も重なり、耕作放棄地も拡大傾向にあるなど、本来の美しい農山村景観が阻害されつつあります。

（２）将来像と地域別整備方針

西祖谷地区と連続するこの地域は、平家落人伝説の歴史的資源や剣山・三嶺などの豊かな自然を活かした観光地として、また景観を維持継続する農業と観光の連携による振興を目指します。

《東祖谷地域の将来像》

「自然と文化に包まれた　清閑なまち　東祖谷」

１）土地利用の方針

・高齢化過疎化が進み集落機能が低下するなか、新たな定住と交流を育むため、防災対策を進めるなど安心安全な生活空間の維持ができるよう集落の環境整備を推進します。また、空き家対策や耕作放棄地の有効活用を図ります。

２）地域施設の整備方針

① 道路・交通

・主要幹線道路である国道 439 号、（主）山城東祖谷山線の防災拡幅事業を促進します。
・景観に配慮した集落と幹線道路を連絡する避難路となる生活道路や観光地へのアクセス道の整備を進めます。
・公共交通の維持に努めるとともに、交通弱者を支援する制度の充実を図ります。

② 公園・緑地等

・主な公共施設や観光施設周辺の植栽等緑化を推進します。

③ 景観形成

・三好市景観計画にもとづき、自然景観の保全を推進します。
・優れた農山村風景を保全するため、体験観光農業などの付加価値の高い観光農業を支援します。

④ 自然環境

・祖谷川渓谷の自然環境の保全を推進します。
・地域北部の自然公園特別地域に広がる貴重な自然環境を保全します。

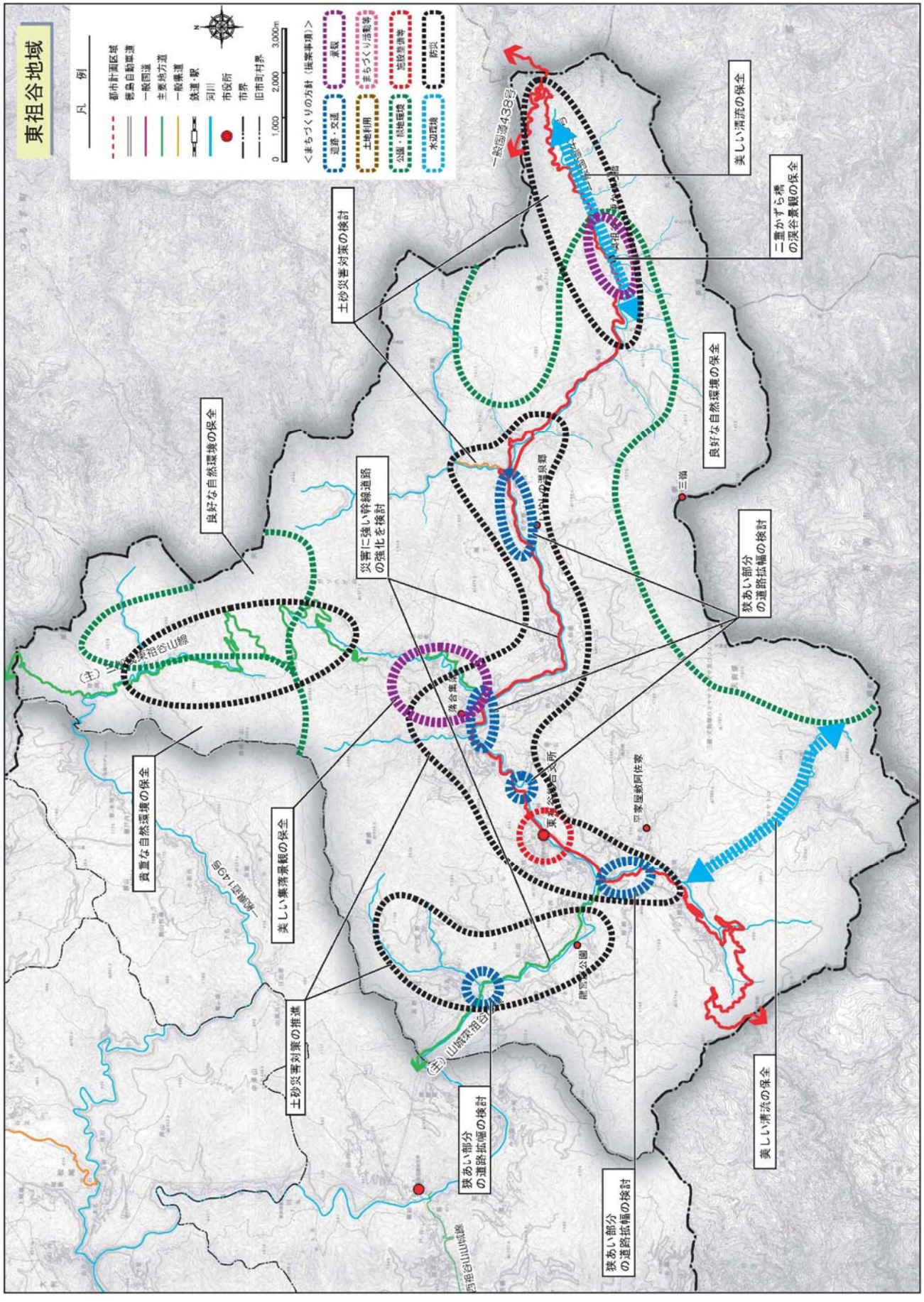
⑤ 地域防災

・異常気象時通行規制区間の早期解消を関係機関へ要望します。
・減災に向けてハザードマップを活用した避難訓練や市民意識の向上を図ります。
・集落における地滑りや急傾斜地区については、砂防堰堤や落石予防のフェンスなど防止対策の整備を進めます。
・耐震改修促進計画にもとづき、公共施設等の耐震化を進めます。

⑥ その他の公共施設

・水道施設（上水道・簡易水道等）を適切に維持管理するとともに、未普及地域の解消を目指します。
・汚水処理施設について、生活排水処理基本計画にもとづき普及を進めます。
・児童数の減少に伴う休校（廃校）舎のさらなる利用促進方法を検討し、豊かな教育環境やコミュニティの醸成を支援します。

(3)地域別構想図


東祖谷地域
凡　例
都市計画区域
徳島自動車道
一般国道
主要地方道
一般県道
鉄道・駅
河川
市役所
市界
旧市町村界
0　1,000　2,000　3,000m
<まちづくりの方針（提案事項）>
道路・交通
景観
土地利用
まちづくり活動等
公園・緑地等緑
危険箇所等
水辺環境
防災
一般国道438号
土砂災害対策の検討
美しい渓流の保全
二重かずら橋の渓谷景観の保全
良好な自然環境の保全
災害に強い幹線道路の強化を検討
狭あい部分の道路拡幅の検討
貴重な自然環境の保全
美しい集落景観の保全
土砂災害対策の推進
狭あい部分の道路拡幅の検討
狭あい部分の道路拡幅の検討
美しい渓流の保全
(主)一宇東祖谷山線
(主)山城東祖谷山線
西祖谷山城線
落合集落
東祖谷総合支所
平家屋敷阿佐家
三俣
祖谷の温泉郷
祖谷渓公園